

2022 ~ 2023 年度国際ロータリーのテーマ

イマジン ロータリー

●会長 山田 公也

●幹事 杉本 整哉

🌀 No.1783 令和 04 年 08 月 03 日 第 05 回例会



※例会日 毎週水曜日 12:30~

※例会場 〒860-0846 熊本市中央区城東町4の2 熊本ホテルキャッスル内

※事務所 〒860-0846 熊本市中央区城東町4の2 熊本ホテルキャッスル内 TEL 354-4521 FAX 354-4053

※ URL <http://www.serc2720.org> ※ email serc@serc2720.org



■点鐘

■国歌斉唱「君が代」

■ロータリーソング「四つのテスト」

(ソングリーダー 古田哲朗)

■熊本東南ロータリークラブの歌「未来」

(ソングリーダー 古田哲朗)

■来訪者紹介 (会長 山田公也)

熊本第3グループガバナー補佐 榎主税 様 (熊本東RC)

■ガバナー補佐ご挨拶



■8月誕生祝い

お誕生日
おめでとうございます

8月誕生祝

松岡 泰光 会員 8月21日

小野川善久 会員 8月30日



■会長の時間 (会長 山田公也)

マネープランニングセミナー



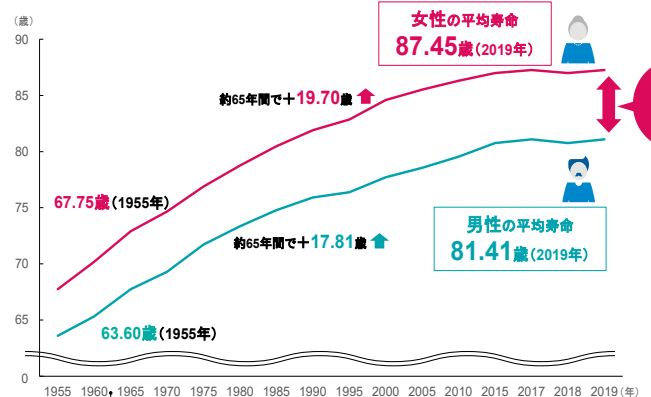
私たちを取り巻く環境 ~経済・労働環境の変化~



いままでのやり方で将来は?

2/31

平均寿命の伸び



3/31

■幹事報告 (幹事 杉本整哉)

■クラブより

1) 前年度理事会報告。



■今後の行事

2022	08月26日(金)	地区新会員 オリエンテーション	オンライン開催	オンライン開催
案内中				

■ロータリーの友8月号紹介

(会報・雑誌副担当 沼田敏雄)



ロータリーの友8月号紹介
(会報・雑誌副担当 代理 沼田敏雄)

※8月は会員増強・新クラブ結成推進月間です。

左側ページより抜粋

- ・P6 RI会長メッセージの中に数年前に国際ロータリー理事会は、2023年までに女性会員の割合を30%にするという目標を設定した。もうあと1年を切りましたが、この目標を達成し超えることが出来るとRI会長は信じて居られる。
- ・P7 特集会員増強 “女性会員を増強しよう” この事について色々な角度からアンケートを含めて掲載されています。
- ・P11
- ・P12 世界の女性会員比率掲載されています。
- ・P13 女性の会員増強 大きく立ち遅れる日本。世界の女性会員約20万人。—— 2022年6月現在。女性会員の割合は約25% → 2022年度～2023年6月までに30%にしたい。

◎ 日本の女性会員の割合は17%、レベルは最低である … と掲載されています。

210地域の中で217位

- ・P26 2022年度 23年度 RI理事会メンバー紹介
- ・P26 右上 ・日本からは 佐藤 芳部 岡山南IC会員
- ・P27 右下 ・紅事務総長として ジョン・ヒューコ ウタライナ・キークIC 創立会員
- ・P34 第2730地区大会 (2022年5月13日～14日) 大森克雄ガバナー紹介

■出席報告 (出席・プログラム担当 草村安宏)

月日	会員数	出席者数	MU	修正出席者数	出席率 (%)
07月20日	43 (免5) 39	30	3	33	96.84
08月03日	43 (免5) 38	30 Zoom6			78.95

☆出席免除

07月20日
住江正治 志賀重人 島村徹男
古庄浩二 村瀬直久



08月03日
住江正治 志賀重人 島村徹男 古庄浩二
村瀬直久

☆欠席者 (5名)

07月20日 川崎直樹 矢野敬之 吉永陽三 宮川義行
潮谷愛一

■スマイル報告

(親睦・スマイル担当委員 福井 学)



◎榎主税熊本第3グループガバナー補佐 2,000円
この度、熊本第3グループのガバナー補佐を務めさせていただきます。榎主税と申します。若輩者ですが一生懸命務めます。よろしくお願ひ致します。



◎松本繁 5,000円
敬愛する榎ガバナー補佐の御来訪を心より歓迎してスマイル致します。



◎内田信行 5,000円
榎ガバナー補佐の御来訪を歓迎して活躍を期待しています。



◎彌富照皇 3,000円
榎ガバナー補佐の御来訪を歓迎致します。



◎片岡貞志 2,000円
九州学院の甲子園出場にスマイルですが、コロナ陽性者が出てしまいました！
早期の回復と拡大防止を祈念してスマイルします。



◎杉本整哉 1,000円
第3グループガバナー補佐 榎主税様の御来訪を歓迎致します。



◎福井学 1,000円
榎ガバナー補佐の御来訪を歓迎します。



◎山田公也 1,000円
榎ガバナー補佐の御来訪を歓迎致します。



■卓話

(会員増強委員長 中島祐爾)

会員増強委員会 新年度方針発表および委員会卓話

委員長 中島祐爾

委員 【会員増強担当】 小畑成司会員 渡邊俊一郎会員

【活動方針】

会員増強は各クラブの永遠の課題である。クラブ存続のためにも最優先事項として取り組んでいく。

また同時に退会防止のためにも会員同士の親睦・結束を高めていく。

【実施計画】

1、若手会員を中心にその交友関係者へ積極的に声掛けし、ロータリークラブの魅力アピールする。(早めに接触する。)

2、20代・30歳前後の若い事業主、また後継者にはまずロータアクト

を紹介し、そこで魅力を感じてもらい数年後ロータリークラブ入会へと導く。

- 3、退会者を減らす為には会員同士の親睦が一番である。各委員会での定期的な親睦（炉辺会合的なもの）を行っていく。
- 4、長期欠席者へはみんなで気軽に声掛けすることでホームクラブへの出席を促す。

会員増強をするに当たり

- 1、まずクラブの現状分析をする（今後の活動・戦略計画・クラブの長所・短所など）
- 2、ビジョンの作成（これから3年から5年の間にかけて実現したいこと）
- 3、ビジョンの実現化（どのように進めていくか）

自分のクラブのことを把握しておくことが大事。
 会員勧誘するときにはクラブの魅力・特長・活動内容・今後の計画や予定など具体的に説明が出来る。
 またロータリークラブの歴史や全世界で取り組んでるポリオ撲滅なども。

入会をためらう3つの課題

- 1、会費
- 2、出席義務（開催頻度）
- 3、例会スタート時間

衛生クラブがある

- 1、会費シュミレーション（10名の場合）

会費	収入	支出	収支
5,000円	600,000円	384,000円	216,000円
7,000円	840,000円	384,000円	456,000円

 大分 Olioli クラブ 1万円/月（親クラブから支援金無し）

- 2、出席義務（開催頻度）

各ロータリークラブの細則で例会頻度と出席に関する規定を定めるようクラブに柔軟性を与える（毎月最低2回の例会開催に修正）
- 3、例会スタート時間

企業へ勤務している若者にとって、昼間の時間帯に仕事を中断し例会会場へ向かうことは困難。

熊本東南 RC 戦略計画

戦略的課題

- ①会員同士の繋がりを維持強化するために例会以外に月に1回の交流の場を継続して行う。
- ②専任活動+プロジェクトなど会の中でそれぞれの役割を明確にシクラブ内での会員の意識を向上させる。
- ③地域の貢献活動との共益を計画、実現していく。

長所

- ①会員同士の繋がりが強い
- ②平均年齢が若年化している。

短所

- ①女性会員比率が低い
- ②入会3年未満や一部の会員の出席率、定着率が芳しくない

特徴

- ①グローバル補助金活用した専任活動
- ②40周年（来年度）に地区補助金を活用して専任活動
- ③ペットボトルや古着寄付などを利用してポリオワクチン専任活動につなげ世界的なSDGSの成れに沿った活動

ビジョン声明

- ①専任委員30名から41名の3年間で国内外（台湾・和歌山東南）の姉妹クラブとICT活用し交流、計画を進めグローバル補助金を活用した専任活動を行う。
- ②会員増強につながる。
- ③ローターアクトクラブとの連携を強化継続する。

戦略的優先事項

- ①ローターアクトとの連携強化
- ②姉妹クラブとの連携強化

戦略的優先事項1: RACとの交流・姉妹クラブ

年次目標	実行項目	必要なリソース・人材	担当する会員	達成期日
5/期	RACとの交流会	・青少年委員の増員	青少年委員会	2023/06/30
	姉妹クラブとの交流		姉妹クラブ委員会	2023/06/30

■点鐘

編集者 沼田 敏雄

誰をも温かく迎え入れるクラブの環境づくり
 投稿日：7月27, 2022
 寄稿者：トム・ガンブ
 （第5950地区パストガバナー、国際ロータリー会員増強委員）

8月はロータリーの「会員増強・新クラブ結成推進月間」。会員基盤の成長について真剣に考える月です。会員制組織であるロータリーにとっては、会員基盤の成長を図り、インパクトを広げることが重要です。



会員基盤は、少なくとも三つの方法で成長させることができます：
 (1) 入会への関心を高めることに力を注ぐこと、
 (2) 既存会員の積極的な参加を促すこと、
 (3) 地元のニーズに応える新クラブを設立し、さらに多くの入会者を引き付けること。歴代の国際ロータリー会長たちも、会員増強におけるこれらの側面を強調してきました。

昨年度（2020-21年度）のシェカール・メータ RI 会長は、「Each One, Bring One（みんなが一人を入会させよう）」キャンペーンを立ち上げ、少なくとも一人を例会やクラブの行事に招くよう全会員に奨励しました。その結果、2020-21年度にはロータリー会員数は純増となりました。

今年度のジェニファー・ジョーンズ RI 会長は、ロータリーにとって必要なのは会員にとっての「居心地のよさ」と「配慮」であることを再認識するよう呼びかけています（詳しくは My ROTARY の会長イニシアチブのページをご覧ください）。私もまったくその通りだと思います。これまでに行われてきた調査でも、ロータリークラブの退会理由として最も多いのは、クラブの文化や環境に馴染めなかったことであると示されています。たとえ退会しなくても、知り合いや友人をクラブに誘うことには躊躇するでしょう。

クラブの文化を変える取り組みを始める前に、まずは自分たちのクラブの文化がどのようなものであるかを理解する必要があります。会員（特に入会者）へのアンケートを行い、新会員がクラブをどう見ているのかを理解する必要性をジョーンズ会長が強調するのは、このためです。クラブに対する人びとの認識を理解した上で、それを変える必要があるのかどうかを検討し、また、誰をも温かく迎える環境づくりの最善の方法を検討することができます。

私の地区には、会員への配慮や誰をも温かく迎える環境の大切さを身をもって示しているクラブがあります。Kaleidoscope ローターアクトクラブ（米国ミネソタ州）は、自閉症のある人とその家族を地域社会とつなげ、支援することを目的に結成されたクラブです（クラブ名である「Kaleidoscope」は「万華鏡」の意味）。

このローターアクトクラブの結成にあたっては、自閉症のある若い成人のための職業訓練とライフスキル（生活技能）訓練を行っている非営利団体「Minnesota Independence College and Community (MICC)」と協力しました。MICC は、学生用のアパートを備えたキャンパスで大学レベルのコースを提供しています。このクラブは、この大学の活動をサポートしており、分野特化型クラブであると同時に、インクルーシブ（包摂的）なクラブでもあります。学生、自閉症のある人とその家族、大学教員、自閉症に関心のある人など、多様が会員がいます。

このクラブを結成した経験から、多くのことを学びました：

会員の声に真剣に声を傾けること。会員は、クラブがどうありたいのかを自分たちで決める権利があります。

取り組む分野や対象となる受益者についてしっかりと学ぶこと。これはクラブの活動について地元の人びとに伝え、入会への関心を高めるために重要なことです。

柔軟な姿勢を保ち、思い込みや先入観を持たないこと。このクラブの創立会員たちは、自閉症のある人が会長になるべきだと強く感じました。実際、その会長はクラブで素晴らしい仕事を成し遂げています。

大切なのは、会員への配慮と居心地のよさを常に意識することです。これこそが、会員基盤を成長させ、クラブに対する会員の誇りを高める最善の方法です。会員が誇りをもてば、クラブにとどまり、人びとに入会を薦めてくれるでしょう。ロータリーの成長を図る方法はこれしかありません。

ロータリーボイスより

← ツイート



カザフスタンのロータリークラブは、障害のある子どもとそうでない子どもと一緒に遊んで寛容さと共感を身につけられるように、#インクルーシブな遊び場を作り、ぶらんこ、滑り台、メリーゴーランドなど特製の遊具を設置しました。各地のロータリー活動をご覧ください on.rotary.org/3zn7Udp



午前8:05 - 2022年8月4日 - Sprout Social

インクルーシブな遊び場とは
障害の有無などを問わずあらゆる子どもが自分の力を生き生きと発揮しながらさまざまな友達と共に遊び学べる場所

インクルーシブな遊び場って障害がある子どものための場所？

1 対象
いいえ。年齢や性別、国籍、個人の能力、また経済的・社会的・文化的背景などの違いにかかわらず、「すべての子ども」のための場所です。障害の有無に限らず子どもたちは一人ひとりが多様で、得意なこと、苦手なこと、関心のあることなどが異なり、それらは変化もしています。あらゆる子どもを歓迎できる遊び場をめざすことで、だれもが自分の力を発揮して遊べ、お互いの違いや共通点を認め合いながらともに成長することができます。また公園の遊び場は、純たかや地域住民にとっても多様な人との出会いや交流の場となります。

だれもが遊べるって、平らな地面に驚いた遊具を置くこと？

2 遊び
いいえ。遊び環境を構成する要素は、遊具だけではなく、多様な子どもが遊びを通して幅広い力を発揮できるように、変化に富んだ豊かな遊び環境が必要です。遊び場全体のアクセシビリティを確保したうえで、タイプや挑戦レベルの異なる遊具を多様化したり、植物・土・水といった自然の要素を豊富に取り入れたランドスケープを工夫したりすることで「遊びの価値」を高めます。子どもたちが自ら遊びを選んだり、挑戦や発見をしたり、休憩と遊びを交差させたりできるよう、選択性や自由度があることが大切です。

住民参加には、ヒアリングワークショップを1回実施すればOK？

3 連携
いいえ。だれも取り残さないインクルーシブな遊び場の実現には、地域のニーズを幅広く出し、ハードとソフトの両面から課題に応じていく必要があります。多様な子どもや保護者をはじめ、地域活動団体、行政や企業、教育や福祉分野の人々などが連携し、遊び場づくりのプロセス全体を通して対話を重ねましょう。またそれらの過程を随時公表したり、調査イベント、寄付・ボランティアの募集など、さらに多くの住民が参加できる機会を設けたりすることで、地域の人々にインクルーシブな遊び場への関心や理解を広めることも大切です。

めざすゴールは、「遊び場の完成」だけ？

4 「育てる」
いいえ。めざすのは完成した遊び場が、多様な子どもを含む地域の人々によって利用され続けることです。ハードの不具合などを見つけて対応することももちろん、積極的な情報発信や遊びのプログラムの提供、プレイリーダーの配置といったソフトの充実にも努めます。またそれらの効果を継続的に検証し改善していくことも大切です。完成したインクルーシブな遊び場が、あらゆる子どもや大人にとって居心地がよく、お互いの多様性やつながりを自然に感じられる地域の交流拠点となるよう、みんなで育てていきたいと思います。

インクルーシブな遊び場は、1か所あれば充分でしょ？

5 整備方針
いいえ。1つの遊び場ですべてのニーズに応えることは不可能です。また遊び場は、子どもたちが日常的に通える範囲にあることが望まれます。地域のあらゆる子どもの遊びを支援するために、特色が異なる第2、第3のインクルーシブな遊び場の整備に加え、小規模公園での部分改修や、継続的な遊びの支援活動など、より広い範囲で取り組ましましょう。家庭に同じような遊び場を増やすのではなく、地域全体で多様な遊び環境を確保していくことが大切です。